

大学の世界展開力強化事業 構想概要 北海道大学

【構想の名称】(選定年度24年度・申請区分(Ⅰ))

人口・活動・資源・環境の負の連環を転換させるフロンティア人材育成プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

ASEAN地域における人口・活動・資源・環境(PARE:Populations-Activities-Resources-Environments)の負の連環の解決のフロンティアを担う人材育成のため、インドネシア・タイの6協定校との国際連携教育システムの構築を図ることを目的とする。PAREの負の連環の解決に必要な不可欠な能力として定義した4つの力、フィールド研究力、多様性容認力、開拓力及び課題解決力を備え、ASEAN地域の発展に主導的な役割を担うことのできる人材を養成する。

【構想の概要】

インドネシア、タイの6協定大学とのPARE大学院教育コンソーシアムにおける協働教育を通じて、分野横断的教育の質の保証、フィールドとラボの教育連携モデルの形成及び異分野専門家集団PARE同窓生ネットワークの形成を促し、もって、アジアのフィールドにおいて同地域の発展に資する人材の輩出及びネットワーク形成を図る。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組

形成に向けた取組

- 成績評価の共通化による厳格な成績管理
- 「PAREプログラム履修ガイド」における履修(互換)科目及び履修プロセスの公開による学修プロセスの明確化
- OFDの協働実施、教科書共同作成を通じた教育の質向上の取り組み
- 外部評価委員会及びコンソーシアム外の大学との教育交流研究会を通じた質の高いプログラムの継続的提供体制の整備

■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

○ 交流プログラムの内容

- ・ 共通科目(講義、サマースクール)の共同開講
- ・ 進路に応じたコンソーシアム内留学プログラムの提供
- ・ 共同講義、教科書作成、FD、成績評価・修了認定を通じた実質的な教員陣の連携

○ 今後の開始に向けた準備状況

- ・ 全大学の代表者による「PARE運営委員会」の招集及び事業の実施計画、スケジュールの作成
- ・ 平成24年度は、準備フェーズとして位置付け、平成25年の夏に本学で開催予定のサマースクールをもって、本格稼働させる。
- ・ 学生相互受入・派遣は平成25年9月から行う。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

サマースクールにおける英語でのグループ討論、留学先の提携校が提供する講義科目の受講及び派遣先でのフィールドワークの実施

○ 外国人留学生の受入れ

サマースクールでのグループ討論、本学において提供する科目の受講及び本学の優れた研究環境における研究の実施

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

- 北大内に設置するセントラルオフィス及び提携先の大学に設置するリエゾンオフィスにおいて留学中の北大学生・提携先からの留学生に対する学修・生活等に関するワンストップサービスを提供
- 各種就職支援プログラムの提供(企業の採用担当者との意見交換会、北大国際戦略説明会(仮称)の設置・開催)

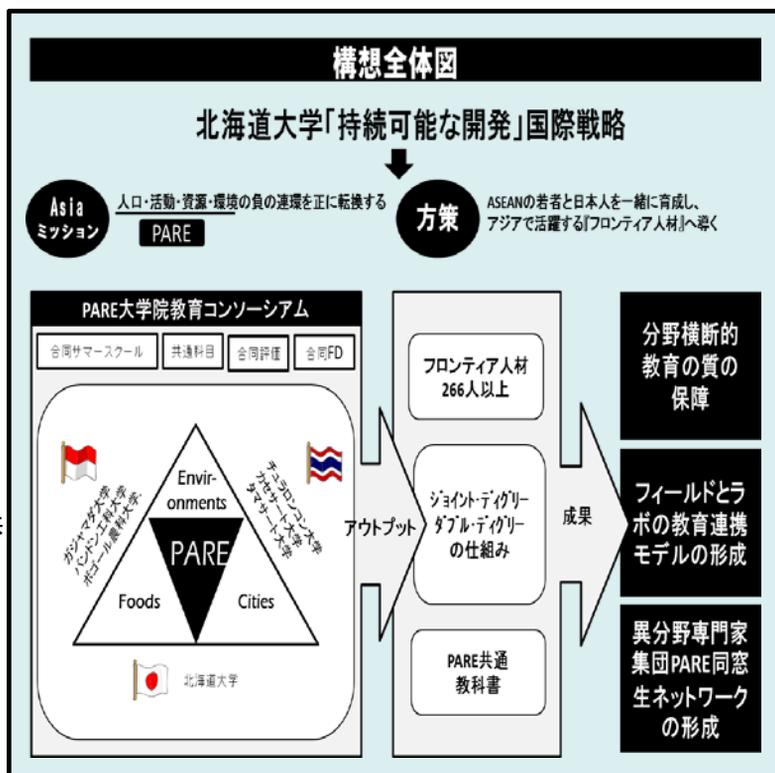
■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 教育内容の可視化

本構想のプログラム履修ガイド及び事業の進捗状況をウェブ等で公開する。

○ 成果の普及

本構想により確立された国際連携教育システムをモデルケースとして全学で共有し、かつ他の分野、他の地域との同種の取り組みに活用・展開する。



	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	13	30	30	30	30
学生の受入	13	30	30	30	30

(注) 申請時の計画